

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新長崎駅ビル(仮称)新築	階数	地上13F、地下0F
建設地	長崎県長崎市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	21,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2023年6月9日
敷地面積	13,632 m ²	作成者	株式会社大林組 渥美智英
建築面積	11,814 m ²	確認日	2023年6月9日
延床面積	73,809 m ²	確認者	株式会社大林組 片岡儀一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: 30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 95%
③上記+②以外の: 95%
④上記+: 95%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.7

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 4.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 4.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	本建物は、長崎駅に面する場所に計画された、物販店舗、飲食店舗、事務所、ホテルの複合建築物である。敷地内には緑豊かな屋上庭園を設け、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。	その他 0
Q1 室内環境	・全面的にF☆☆☆☆の建材を採用し、室内空気質の健全化に配慮する。 ・CO ₂ 濃度を常時監視し、適切な空気質の確保に配慮する。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する。 ・十分な階高を確保し、空間の対応性・更新性に配慮する。
Q3 室外環境(敷地内)	・屋上緑化を設けるとともに、低、高木をバランス良く植栽し、生物環境の保全と創出に配慮する。	
LR1 エネルギー	・LED照明の採用等により、エネルギー使用量削減に配慮する。 ・エネルギー消費量を詳細に把握し、効率的な運用に配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・雨水及び井水を利用し、水資源保護に配慮する。 ・リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量削減に配慮する。
		LR3 敷地外環境 ・廃棄物を細かく分別することでリサイクルを促進し、廃棄物処理負荷の低減に配慮する。 ・広告物照明は「光害対策ガイドライン」の過半を満たし公害対策に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

